

生ごみ処理容器の今後の取り組みは

山田敏夫議員

問 生ごみ処理容器「ベランダ de キーロ」のごみ減量化に向けた今後の取り組みは。

答 ごみ減量化の鍵となる事業として、平成26年度から本格導入したい。

公園遊具整備の選択と集中

島田典朗議員

問 点検の結果、不備の

あった公園遊具は修繕や撤去がなされているが、設置については、要望が多い一方で財政的な理由等から追いついていない状態。公園の目的や位置関係を考慮しながら、遊具を集中的に設置する公園と、それ以外の手法を用いる公園といったようなメリハリをつけた整備はどうか。

答 撤去した遊具は、なるべく設置していきたいと考えている。広場だ



子どもたちに人気の西ノ原中央公園

くらしに安心を

…安全対策

けといった公園も必要であると思うので、近隣

や地域と話し合ってきた。

ゾーン30の取り組み

西 和彦議員

問 生活道路の安全対策として最高速度30キロの区域規制を行う「ゾーン30」を平成25年度から3カ年で3地域設定するが、その考え方については。

にこれを守ることを周知徹底していく。通学路の安全対策は、30キロ規制を町内会などに周知徹底することにも、路面標示等を行い、安全対策を推進する。

インフラ老朽化対策の実施を

岸川彌生議員

答 歩行者や自転車利用者が多く、生活道路が積した地区であり、通過交通による交通事故が懸念される箇所を選定した。

問 インフラ（公共施設・上下水道や道路などの社会基盤）が老朽化している。すべてを見直す対策が必要では。

通学路安全対策は

岸川彌生議員

問 北野・大原・上福岡一丁目地域は、密集地で通学路の安全対策が必要ではないか。

答 この地域は「ゾーン30」に指定し、ドライバー

市では、総点検として道路・下水道・污水管の調査を行った。防災・安全交付金の活用は大変有効であり、今後その対象となる事業を積極的に活用し、安全を確保していく。

福岡中学校東側の歩道整備

足立志津子議員

問 福岡中学校東側歩道の整備内容と、福岡浄水場までの計画は。

答 2カ年事業で平成25年度はグラウンド部分の樹木を伐採し、歩道を整備する。



信号機設置が待たれる三角分館前

三角小学校周辺の安全対策

伊藤初美議員

問 三角分館前の信号機設置の見直しは。

答 毎年県警に要望しており、今後も引き続き要望していく。なお、市内では2年連続信号機の設置はない状況である。

問 関越自動車道ガード下の安全対策は。

答 蛍光灯を使用しているが、今後は明るさや経済性を考慮しLED照明器具に替えていく。



かすが保育園前交差点

安心して通行できる交差点へ

島田典朗議員

問 かすが保育園南東側の交通安全対策は。

答 これまで、隅切りを改良し、カーブミラーを設置してきた。今後は、路面に点線を標示して、道路の優先関係を明確にしていきたい。

歩道整備はいつまでに行うのか

塚越洋一議員

問 ヤマハ工場跡地南側の歩道整備はいつまでに行うのか。

答 都市計画道路予定地になっているので、歩道用地確保に向けて交渉している。

子どもたちの健やかな成長を…子育て・教育

小中一貫教育に向けて

堀口修一議員

問 小中9年間を見通した確かな学力を身につけさせ、それぞれの子どもに合った教育が可能となっていく。本市の取り組みは。

答 小中学校間の教員の交流、児童生徒の交流活動を県に先駆け、各中学校区ブロック制で行っている。今後、より強固な小中連携となるよう

体罰を許さない取り組みを

新井光男議員

問 小中学校におけるスポーツ活動への指導、体罰を許さない取り組みは。

答 2月下旬に県から通知を受け、体罰に関する調査を実施している。体罰の根絶のため、教職員に対して指導をするほか、児童生徒の心情の理解、部活動の目的を確認

学校給食の食物アレルギー対策

西 和彦議員

問 東京の小学校で起きた食物アレルギーによる死亡事故の教訓をどのように生かしていくのか。

答 学校では、アレルギー対応調査を実施するとともに学校給食献立のアレルギー関連資料を保護者に提供し、家

「まちなか防災空地整備事業」の実施を。

問 住宅などが密集する市街地の空き家などを整備し、災害時の一時避難場所や消防活動用地に活用することは、密集地の防災対策に有効な方策として認識している。実現に向けて研究する。

新上福岡給食センター調理を直営で

足立志津子議員

問 契約のもとになる要求水準で、調理員の人数を定めていないのはなぜか。また、栄養士の指示書だけで、「味のベアス」は天然だしなど、本市の学校給食の特色6項目を満たす給食を、事業者がつくることのできるのか。給食の質を守るには、直営堅持を。

答 調理従事者の人数・資格などは、事業者の提案による。食材の調達も市が行い、調理は現パート職員が継続して働く可能性もあり、事業者が持っているノウハウを活用し、効率的で充実した運営が図られると期待している。